

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年2月14日

1. 職名・氏名 学教センター教授 島田洋一

2. 学位 学位 法学修士、専門分野 政治学、授与機関 京都大学、授与年 1982年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 国際政治学（2単位 毎年開講） 1～4年生
②内容・ねらい 現在進行中の安全保障問題を英語の資料を用いて講義することを通じ、国際政治の深い理解とともに、国際政治関係の英語力涵養にも意を用いた。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 英語の文章教材とともに、地図を中心に映像教材を多く使って講義を進めた。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 国際関係論（2単位 毎年開講） 1～4年生
②内容・ねらい 現在進行中のさまざまな国際関係事例を英語の資料を用いて講義することを通じ、国際関係の深い理解とともに、関連分野の英語力涵養にも意を用いた。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 英語の文章教材とともに、地図を中心に映像教材を多く使って講義を進めた。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 政治学（2単位 毎年開講） 1～4年生
②内容・ねらい 現在進行中の内政問題（特に日米比較）を英語の資料を用いて講義することを通じ、政治事象の深い理解とともに、関連分野の英語力涵養にも意を用いた。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 英語の文章教材とともに、地図を中心に映像教材を多く使って講義を進めた。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 導入ゼミ（1単位 毎年開講） 1年生
②内容・ねらい 国際政治関係の英語資料を用いて、輪読・討論を行うことを通じ、国際政治の理解とともに、関連分野の英語力涵養にも意を用いた。

<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 英語の文章教材とともに、地図・地球儀・関連写真などを用いて授業を進めた。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 教養ゼミ（1単位 毎年開講） 1～4年生</p>
<p>②内容・ねらい 国際政治関係のやや高度な（教養ゼミよりも）英語資料を用いて、輪読・討論を行うことを通じ、国際政治の更なる理解とともに、関連分野の英語力涵養にも意を用いた。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 英語の文章教材とともに、地図・地球儀・関連写真・インターネット・音声教材（audio book）などを用いて授業を進めた。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 学術ゼミ（1単位 毎年開講） 1～4年生</p>
<p>②内容・ねらい 国際政治関係のやや高度な（自由特論よりも）英語資料を用いて、輪読・討論を行うことを通じ、国際政治の更なる理解とともに、関連分野の英語力涵養にも意を用いた。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 英語の文章教材とともに、地図・地球儀・関連写真・インターネット・音声教材（audio book）などを用いて授業を進めた。</p>
<p>(2)その他の教育活動</p>
<p>内容 国際政治関係の英語力向上に意欲のある学生に対し、研究室において、個別に読解指導などを適宜行った。</p>

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書 『3年後に世界は中国を破滅させる』(2020年、ビジネス社) 『アメリカ解体』(2021年、ビジネス社)	【本】
②学術論文(査読あり)	【本】
③ その他論文(査読なし) 連載「アメリカの深層」月刊『正論』毎月 連載「天下の大道」月刊『WiLL』毎月	【本】
④学会発表等	【件】
⑤その他の公表実績	【本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

①国・地方公共団体等の委員会・審議会

政府「拉致問題に関する有識者との懇談会」委員。北朝鮮による拉致問題の解決策について、拉致問題担当大臣を議長に審議。

②（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間）

北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会副会長

公益法人国家基本問題研究所評議員兼企画委員兼研究員

歴史認識問題研究会評議員

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

国際交流委員会

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など